

和江幼稚仔保育場効果調査

1. 目 的

アワビの人工礁への付着状況を調査した。

2. 調査 期 日

昭和58年8月22日

3. 調 査 員

鹿島浅海分場 勢村 均・竹内四郎・山本能久
沿 整 協 会 飯島真人

4. 概 況

防波堤真近の水深3-4mのころ石底に、花型ブロックが、灘から沖へむかって配置されている。ブロックは4-5個1組で、合計31個設置されている。

5. 調 査 方 法

花型ブロックを10個、無作為に抽出して、ブロックに付着しているアワビの種類、個体数、殻長を測定した。坪刈りは荒天のため行なえなかった。

6. 調 査 結 果

一ブロックに付着していたアワビは、クロアワビとトコブシであり、うち、クロアワビが総個体数の93%を占めた。

ブロック10個に付着していた数は、合計30個、平均3個/ブロックであった。

殻長別にみると、10cm以下が37%、10cm以上63%であった。

付着位置は、殻長10cm以上の個体はすべてブロック下部であり、10cm以下の個体は27%がブロック上部、他がブロック下部に付着していた。

ブロック上部のミゾ部分は、ほとんど砂で埋まっており、その他の部分は、海藻幼体が生育していた。また、稚アワビの付着に好適と思われるブロックの間隙部分を、ムラサキウニが占めていた。

表1 目視調査結果

ブロック No.	アワビ種類	殻長 (cm) × 個数	付着位置	備考
1	クロアワビ	4 - 6 cm × 3 10 cm × 3	ブロック下部	
2	"	8 cm × 1 15 cm × 2, 10 cm × 1	"	
3	"	8 cm × 1, 12 cm × 1 10 cm × 1	"	
	トコブシ	4 cm × 1, 6 cm × 1	"	
	サザエ	3		
4	クロアワビ	4 cm × 1	ブロック上部	タコ1個体
		8 cm × 3, 15 cm × 1	ブロック下部	
5	"	5 cm × 1	ブロック上部	
		10 cm × 1	ブロック下部	
6	"	12 cm × 1 15 cm × 4	"	
7	0	0	0	
8	クロアワビ	15 cm × 1	ブロック下部	
9	"	10 cm × 3	"	
10	"	5 cm × 1	ブロック上部	